



# 六郷ろくごう

六郷小学校

H30. 4. 20

No. 3

## タイからの教育視察

今年度もタイからの教育視察団の方々が訪問しました。既に新聞やテレビでご存じかと思いますが、18日(木)にタイから9名の方々がお越しになり、秋田県の教育委員会の方を合わせると20名の方が来校されました。今回訪問された方々は、日本で言うと文部科学省にあたる組織の幹部の方々です。

この訪問は突然決まりました。4月6日に連絡があり、何とか引き受けてほしいとの要請が県からありました。学校としては、4月の一番忙しい時期であり苦しいところでしたが、せっかくの訪問でしたし、美郷町はタイとの教育交流も進めているところから、お引き受けしました。

当日は、次のような日程で進みました。

10:00~10:30	学校紹介	6年生3名による歓迎のことば	校長のプレゼン
10:40~11:25	授業参観Ⅰ	特定授業	4年竹組 授業者: 櫻庭、黒澤
11:30~12:15	授業参観Ⅱ	全クラスを一巡	
12:20~13:00	学校給食の試食		
13:00~13:15	清掃の様子を視察		
13:20~14:10	懇談		
14:30	見送り		

### (1) 6年生の歓迎のことば

6年松組の くん、 さん、 さんが歓迎の言葉を話してくれました。最初にタイ語で話し、次の人が英語で、そして最後の方が日本語で話すというやり方でした。例えば、「サワディカップ」「ハロー」「こんにちは」という具合です。元気な声でしっかりとあいさつしてくれ、とても好評でした。

### (2) 授業について

今回の訪問の目的は、秋田県の小学校の状況を視察するだけではなく、「秋田の探求型授業」とはどんな授業なのかを視察することが大きな目的でした。なぜかという、秋田県ではタイとの教育交流を進めており、「秋田の探求型授業」を「Akita action」として、タイにその方法を指導しているからです。美郷中学校所属の高橋先生は、算数・数学の教育専門監として、これまでに4回タイを訪問し、実際に授業も公開してきています。その流れの中で、実際の「秋田型探求学習」を視察することには大きな意義がありました。



たくさんのお客様の前で緊張しないように、始まる前のリラックスタイム



### (3) 秋田の探求型授業とは

秋田の探求型授業とは、次の4つのステップを踏む学習です。

- ① 「学習の見通しをもつ」 自分で課題を考え、見通しをもちます。
- ② 「自分の考えをもつ」 話し合い活動につなげるために、しっかりと自分の考えをもちます。
- ③ 「ペア・グループ・学級で話し合う」 いろいろな形で話し合いを行い、考えを深めます。
- ④ 「学習内容や学習方法を振り返る」 板書やノートを使って振り返る活動を行います。

4年竹組の算数では、このステップを通して授業が進められました。



自分の考えをもつ場面

ペアやグループで話し合う場面

学級で話し合う場面

### (4) すべての学級の授業を一巡

授業参観Ⅱでは、すべての学級の授業を一巡してもらいました。授業教科は様々で、国語、算数などだけでなく、道徳、体育などの授業も参観いただきました。タイの方々も、どの授業も興味をもって参観していました。参観後、ホールに向かう途中、1年生の給食準備と遭遇しました。給食用の服装が珍しいとのことで、子ども達と一緒に写真を撮っていました。



### (5) 日本の教育のレベルの高さ

給食を試食いただいてから、懇談会を行いました。いろいろな質問が出ましたが、その内容から察すると、やはり日本の教育のレベルの高さに感心しているのだと感じました。というのは、「どうやって全教員が同じレベルで指導できるようになっているのか？」といった質問が多かったからです。すべての授業を参観して率直に感じられたのだと思います。さきがけ新聞にもあったように、「先生が教えるだけでなく、児童が自ら考えることで理解しているのが印象的だった。」と感じてもらえたことで、視察を受け入れて本当に良かったと感じました。

**1年生もしっかりと準備ができます。**

1年生も給食が始まっています。写真にあるように、1年生とは思えないほど、まじめに準備を頑張っています。手際も良く、スムーズに準備が進んでいます。

